

▶表4. かながきの例◀

可	不可	可	不可	可	不可
あいまって	相俟って	…くらい	位	とかく、とにかく	兎角
あえて	敢て	ぐあい	具合、工合	どこ	何処
あたかも	恰も	ここ	此处、茲、爰	どの、どれ	何の、何の
あと	後	…こと	此事	…ところ	…所、何処
当たる、当てる	当る、充る	ことさら	殊更	とりあえず	連も取敢えず
あらかじめ	予め	この、これ	此、是、之	ともに	共に
あらゆる	凡、総、凡有	ごとく	如く	ないし	乃至
ある	土、有る	ごさ	毎に	なお	乃、猶
あるいは	或は	ささ	差支	なかな	仲々、却々
…(と)いう	…(と)言う、…(と)云う、如何(なる)、(に)	ささあたり	差支	ながら	乍ら
いかん、いかなる	如何(なる)、(に)	ささあつかえ	差支	なぜ、ら	何故、杯
いかに	如何(なる)、(に)	ささあつかえ	差支	なる、べく	等、可
…(して)いく、ゆく	…(して)行く	ささあつかえ	差支	なる、ほど	成程
いくぶん	幾分	ささあつかえ	差支	(し)にくい	…(し)難い
いずれ	何れ、孰れ、いづれ	ささあつかえ	差支	はいる	入る
いたずらに	徒に	ささあつかえ	差支	はなはだ	甚だ
…(して)いただく	…(して)頂く、戴く	ささあつかえ	差支	ばかり	許り、計
いちいち	一々	ささあつかえ	差支	ひいて	延いて、惹いて
いつ	何時	ささあつかえ	差支	ひとつおり	一通り
いっさい	一切	ささあつかえ	差支	ページ	頁
いっしょに	一諸に	ささあつかえ	差支	ほう(の)	方(の)
いっせいに	一齊に	ささあつかえ	差支	ほう	方
いっそう	一層	ささあつかえ	差支	ほかに	外に
いったい	一体	ささあつかえ	差支	ほとんど	殆んど
いったん	一旦	ささあつかえ	差支	まことに	誠に
いっばいに	一杯に	ささあつかえ	差支	まして	況して
いっぺんに	一偏に	ささあつかえ	差支	ますます	益々
いまだ、まだ	未だ	ささあつかえ	差支	まちがい	間違い
いよいよ	愈々	ささあつかえ	差支	ままだ	尙儘
…(して)いる、おる	…(して)いる、おる	ささあつかえ	差支	まなす	看做す、見做す
いろいろの	色々	ささあつかえ	差支	むしろ	寧ろ
いわゆる	所謂	ささあつかえ	差支	むずかしい、むづかしい	六ヶ敷い
…(の)うち	…(の)中	ささあつかえ	差支	かし	明瞭
…(し)うる	…(し)得る	ささあつかえ	差支	かりょう	齎す
うんぬん	云々	ささあつかえ	差支	もちろん	勿論
おいて	於て	ささあつかえ	差支	もつ	有つ
おおむね	概ね	ささあつかえ	差支	もつて	以つて
おおよそ	大凡、大約	ささあつかえ	差支	もとより	下に、許に
…(して)おく	…(して)置く	ささあつかえ	差支	もはや	元、素、固より
おそい	遅い、晚い	ささあつかえ	差支	…(し)やすい	…(し)易い
おって	追って	ささあつかえ	差支	やっかい	厄介
おのおの	各々	ささあつかえ	差支	やむをえず	矢張り
おのずから	各自	ささあつかえ	差支	ややもすれば	不得已、止
おもむるに	自ら	ささあつかえ	差支	ゆえに	稍
…(した)おり、…(の)おり	…(した)、(の)折	ささあつかえ	差支	ゆえん	動もすれば
かえって	却る、斯して	ささあつかえ	差支	よい	故に
かかる、かくして	斯する、斯して	ささあつかえ	差支	ようす	所以
かかわらず	拘らず	ささあつかえ	差支	ようやく	好い、良い
かつ	且	ささあつかえ	差支	よく	様子、容子
かつこう	恰好、嘗て	ささあつかえ	差支	よほど	様々に
かつて	曾て、嘗て	ささあつかえ	差支	よって、よる	漸く、能く
かなり	可成、可成	ささあつかえ	差支	りっぱ	克程
かねがね	可兼、可兼	ささあつかえ	差支	わかる	余程
かねて	予て	ささあつかえ	差支	わがわが	依、由、因、擬
かまわない	構わない	ささあつかえ	差支	わたって	立派
きたす	来す	ささあつかえ	差支		分、判、解る
		ささあつかえ	差支		態々
		ささあつかえ	差支		亘って、渡って